

# 銀河レポート401

No.62  
7月号

発行日：令和2年7月1日  
編集&発行：四日市市立博物館  
プラネタリウム  
電話：059-355-2700  
HP：https://www.city.yokkaichi.  
mie.jp/museum/museum.html

## 7月の星空

### 七夕

七夕伝説は、一年に一度7月7日の夜にのみ会うことができる織姫と彦星のお話です。織姫はこと座のベガ、彦星はわし座のアルタイルのことを指します。二人の間に見えるもやもやはもちろん天の川。2000億個もの星でできた、天の川銀河を横から見た姿です。

### へびつかい座

織姫と彦星が見つかったら、面白い名前の星を探してみましょう。二つの星を繋ぎ、西の方に三角形を作ってみると、2等星のラス・アルハゲが見つかります。ここには偉大な医者星の星座があります。その名もへびつかい座。古代ギリシャのアスクレピオスという医者はへびを使ってどんな病気でも治すことができました。

現代では、アスクレピオスのへびが「スターオブライフ」というマークとして、救急車に描かれています。探してみてください。

7月15日21時の星図



スターオブライフ

南

星図：ステラナビゲータ10/(株)アストロアーツ

### 惑星

今年の夏は星座だけでなく、惑星もしっかりと観察してみましょう。気温が高くなるにつれて、空でもぎらぎらと惑星たちが輝きます。東の空低いところに明るく輝く二つの星。明るいほうが木星で、次に明るい星が土星です。惑星は太陽の周りをまわっています。また、太陽やベガ、アルタイルといった恒星のように自力で光ることができず、太陽の光を反射して輝きます。

そもそもなぜ惑星というのでしょうか。恒星は恒常的に同じ位置にある星、それに対して惑星は、惑うように空を移動する星という意味です。惑星は太陽の周りをそれぞれの速さで回っており、地球との位置関係を常に変化させているので、空の一点にとどまるということがありません。そのため、年によって見える場所が大きく異なるのです。ちなみに惑星は英語でプラネット。プラネタリウムはできた当初、惑星のその複雑な動きを再現できる機械のことを指しました。

## 時空街道ツアーex

4がつく日曜・祝日に実施していた「時空街道ツアー」が、今年は「時空街道ツアーex」としてパワーアップしました。このツアーでは常設展から四日市の歴史、環境を学んだ後、最後にプラネタリウムで宇宙から見た地球について考えていきます。

日時：7月24日(金)  
13:15~15:15  
(受付は13:15まで)

場所：3階常設展入口  
料金：無料



## 7月のガリレオ教室

### 木星と土星のみみつ

今年の夏は南の空に明るい惑星が二つ輝きます。木星は太陽系最大のガス惑星、土星は大きな環が特徴的な惑星です。そんな二つの惑星には、さまざまなみつきがあります。夏休み前に、じっくり考えてみましょう。

日時：7月12日(日)  
①11:00~11:20  
②14:00~14:20

場所：1階 講座室  
料金：無料



## コスミックスクール

### 天体望遠鏡を作って 月の観察をしよう

天体望遠鏡はどうして遠くのもの大きく見えるのでしょうか。望遠鏡の仕組みについて学びながら、自分だけの望遠鏡を作って、月の模様や惑星たちを観察してみましょう。

日時：7月25日(土)  
15:00~18:00

場所：1階 講座室  
参加費：3000円

※詳しくはホームページをご覧ください。



## ★★観望会★★

《博物館主催きらら号観望会》

日時：7月25日(土)

時間：19:30~21:00

場所：博物館前市民公園

内容：月を見よう



※天候不良時は中止です。  
※当日は自由参加・無料です。  
※参加にあたりマスクの着用、手指消毒、観覧受付票の記入をお願いいたします。

## 7月の月

5日 満月

13日 下弦

21日 新月

27日 上弦

## 編集後記

これを読む大人の方は、「冥王星は惑星でない」と定められた当時のニュースを覚えているでしょうか。筆者はその頃小学校低学年。惑星についてははっきり知らないまでも、これは歴史的な瞬間なのだ実感していました。当たり前だと思っていたものが、実は大きく異なっていたということがわかる瞬間は、天文学の中で最上級の面白さではないでしょうか。